

製品名: Siah-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17884**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	SIAH2
別名	SIAH2; E3 ubiquitin-protein ligase SIAH2; Seven in absentia homolog 2; Siah-2; hSiah2
遺伝子 ID	6478.0
SwissProt ID	O43255
免疫原	抗血清はヒト SIAH2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

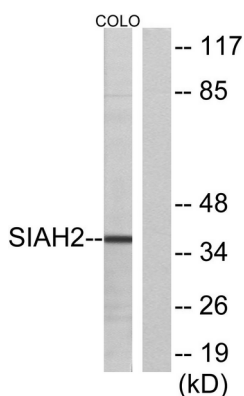
この遺伝子は、7 in Absentia Homolog (SIAH) ファミリーのメンバーであるタンパク質をコードしています。このタンパク質は E3 リガーゼであり、特定のタンパク質のユビキチン化およびプロテアソームによる分解に関与しています。このユビキチンリガーゼの活

性は、低酸素に対する細胞応答の調節に関与していることが示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: RING型ジンクフィンガードメインは、ユビキチンリガーゼの活性に必須です。ドメイン: SBDドメイン(基質結合ドメイン)は、ホモ二量体形成および基質タンパク質との相互作用を媒介します。これは TRAFファミリーに関連しています。機能: 標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソームによる分解を媒介する E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、その後、標的の基質に直接ユビキチンを転送します。基質に直接結合するか、より大きな E3 複合体の必須の RING ドメインサブユニットとして機能することにより、E3 ユビキチンリガーゼの活性を媒介します。転写調節に関与するタンパク質 (POU2AF1、PML、NCOR1)、細胞表面受容体 (DCC)、抗アポトーシスタンパク質 (BAG1)、ニューロンのシナプス小胞機能に関与するタンパク質 (SYP) など、多くの基質のユビキチンを介した分解を引き起こします。そのため、アポトーシス、腫瘍抑制、細胞周期、転写、およびシグナル伝達プロセスに関与しています。SIAH1 と一部機能が重複しています。SIAH1 は TRAF2 のユビキチンを介した分解を引き起こしませんが、TRAF2 のユビキチンを介した分解を引き起こします。pathway:Protein modification;タンパク質ユビキチン化。類似性: SINA (Seven in Absentia) ファミリーに属する。類似性: RING型ジンクフィンガーを1つ含む。類似性: SIAH型ジンクフィンガーを1つ含む。細胞内局在: 主に細胞質内(おそらく)。部分的に核内。サブユニット: ホモ二量体。UBE2E2 と相互作用する。PEG3 と相互作用する(類似性による)。VAV1 と相互作用するが、ユビキチンを介した分解は介さない。CACYP/SIP と相互作用する。UBE2D1、SIAH2、CACYP/SIP、SKP1A、APC、TBL1X からなる大規模な E3 複合体の構成要素であると考えられる。PEG10 と相互作用し、PEG10 の活性を阻害する可能性がある。組織特異性: 低レベルで広く発現している。

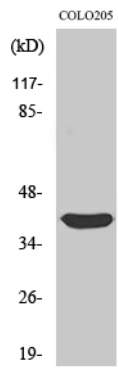
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、クロマチン修飾酵素、ユビキチン化、幹細胞、シグナル伝達経路、Wntシグナル伝達、細胞質、心血管/免疫、低酸素症、プロリルヒドロキシラーゼ、細胞周期、ユビキチンリガーゼ

画像データ



SIAH2抗体を用いたCOLO細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Siah-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析